

# 第4回香美市地域公共交通活性化協議会

## 議事要旨

### 日時・場所

令和5年10月30日（月）午後2時～  
香美市役所3階会議室

### 次第

1. 開会
2. 議事
  - ①香美市地域公共交通計画の策定について  
(課題・方針案の修正・施策等)
3. その他
4. 閉会
5. 配布資料
  - (1) 会議次第
  - (2) 第5章 地域公共交通に関する現状・役割の整理 資料1
  - (3) 第7章 基本方針を実行するための施策・事業 資料2

会議状況



会議状況



## 議事要旨

### 1. 開会

- ・事務局：（開会挨拶）  
委員の半数以上の出席で本議会は成立することの報告  
配布資料の確認
- ・西内会長：（会長挨拶）

### 2. 議事

#### ①香美市地域公共交通計画の策定について

- ・事務局：資料説明  
第5章 地域公共交通に関する現状・役割の整理 資料1  
第7章 基本方針を実現するための施策・事業 資料2

#### 【質疑応答】

- ・事務局：資料2の180ページで事業⑤の事業概要の文言を「意見交換を通じて利用者や市民ニーズ等だけではなく市営バス運行も含む様々な問題点を利用者のニーズと情報共有を行ったうえで、市営バスの運行内容の反映や持続可能な運行、適正な運賃等を検討します」という文言に改めさせていただきたい。
- ・能瀬委員：交通事業者として今回の「あんぱん」放映はチャンスであり、時間が無い中で準備となる。本協議会も、そこに重きを置いて話をすべきかと思うが、各委員はどのように考えているのか。市がどのように動くのか现阶段の話を聞かせてほしい。
- ・事務局：再来年度に放送が予定されており、準備としては来年度にやらなければいけないと思っている。予算編成もすぐ始まる状態だが、まだ何も決まってない状

態である。

「あんぱん」のために新しいバスを走らせて、放送が終わった後、その新しいバスが残って、その代わり以前の路線が無くなるようなことがあってはならないので、現在あるものを活用して、できる範囲で行っていききたい。

さらに、観光客に喜んでもらえるような具体的なものがあればアイデアを出していただきたい。できる限り費用がかからない形が望ましいが、費用対効果も考えながら少し考えていききたいと思っている。申し訳ないが、「あんぱん」についてはまだ白紙状態である。

・委員： 佐川町が参考になると思う。

容量的に美良布駅や全駐車場（アンパンマンミュージアム）も含めて観光客を受け入れられるか否かが不安である。公共交通も田舎の1駅として地元の人には認知しているが、他の観光客には認知されていないと思う。また、平日と土日では混雑状態に格差があり、その対応もしていかないといけない。

あと、繁忙期の10～11月は、自分たちの貸切バス(旅行)等の仕事をしながら、タクシーで観光客への対応も増えてくる。そういった中で、乗務員の確保もしっかりとしていくことが重要と思っている。またそういったところのフォローもしっかりとしていただきたい。

・事務局： 先程の「あんぱん」に関しての事務局の発言は公共交通に関することのみであり、市全体としてのシティプロモーションとしては、現在、佐川町を参考に研修も行く予定となっている。ただし、全体的にはまだ検討中である。

・会長： 個人的には計画書の基本は普段利用する人達だと思っている。

ただ、策定中にこのようなビッグイベントがあったということで、実際の数字があれば一番いいと思う。そのあたりも勉強しつつ、観光の部分で記載していくことを考えている。

・委員： 資料1の153ページで「2-5 介護タクシー」の内容が令和3年度で記されているので、令和4年度のデータに変えた方が良くと思う。

また、令和3年度ではコロナ禍により利用が減少していたが令和4年度以降は増加しているので、3行目の文言で「近年では・・・」というところを、「申請者数はコロナ禍により減少していたが近年は増加傾向にあり、令和4年度では延べ435人の利用申請があった」と修正をお願いしたい。

令和5年度も免許返納等で問い合わせがあり、福祉タクシーを使うなど増加傾向にある。今後、高齢化が進むに従って介護タクシーを使う方も増えてくると思うので、修正をお願いしたい。

・委員： 資料1の161ページで「⑧持続可能な公共交通の運営」の課題が、基本方針の整理中に十分に盛り込まれていないのではないかと。165ページの「役割・課題・基本方針の対象関係」として、「課題⑦持続可能な公共交通の運営」が基本方針①の方には盛り込まれる必要があると思う。

162ページに「基本方針①利用者の視線で使いやすい地域公共交通ネットワークの再構築」と記載があり、このニーズを第一に考えて再構築すると受け取

られるが、基本的には公的負担とセットで考え合わせ、地域交通ネットワークの再構築というのを考えていくべきである。簡単に言えば経営的視点を定めるという風に考える。

あと、目指す将来像に「輝き・安らぎ・賑わいをみんなで築くまちづくりを支える地域公共交通」とあるが、これは単に理念である。理念にそれを支える地域公共交通というのを付け加えただけであり、それを将来像とは提示できない。地域交通のその計画が目指す将来像(ビジョン)というものをここでしっかり提示していく必要がある。

重要なのは、経営的視点をこの計画の中に取り入れ、PDCA と回す中で常に公的負担を念頭において考えるほうが良いだろう。実施アンケートでも 65.7%の方が、公的負担に関して現状維持かもしくはもう少し下げた方が良いという結果が出ていた。

地域交通が目指す将来像だが、時代にあった施策を簡単にやっていく。また、燃料費や人件費などの高騰も考慮に入れた上でやるべきだと思うが、何より高知工科大学を擁するまちということを念頭に、もっと積極的に利便性を追求した方が良いと思う。

・会長： 資料1の162ページ、「6.3 地域公共交通が目指す将来像」は、どんな交通体系になるのか、というのをうたわないといけないように思う。

個人的には新しい物を取り入れ、人間が関わらずとも動くようなものができれば良いと思っているが、制約条件や予算のこともある。そのあたりを考慮しながら、資料1を修正する際には「使えるものは使う」という姿勢で計画を立てる方向で構わないと考えている。

また、資料1の165ページも少し修正する必要がある。

特に、資料2の最初の目標が3つなのに対し、基本方針が5つあり整合性が取れていない。そのあたりは修正していくようにしたい。

最後に佐竹委員に質問があり、財源の話が出た時に人件費高騰の発言もあったが、運転手の待遇を見直すことは可能なのか。

・委員： 人件費に関する部分は、現状の地域交通を維持するために必要な増額はある程度容認すべきだと考えている。当然、燃料費の高騰にも対応すべきである。増額した分の経費を路線の廃止によって補填することまでは考えていない。

・会長： 人件費の部分は非常に大事であるので、是非どこかに検討する項目としていきたい。

資料2の「事業番号⑨市民が主体となる取組」で、自家用有償旅客運送の話があり検討することは良いと思うが、個人的にはもう少しバスや鉄道の存在を香美市住民の方に認知していただく方が大事だと思う。住民の認知度が低いように思える。認知していただくためには、どの部分でどのようにまとめるかを整理する必要である。

また、事業名⑮⑯の乗り方教室やイベントの開催を、公共交通の存在を周知するための取り込みとして考えてもよいのではないかなと思う。

ちなみに、「施策④モビリティマネジメント」というのは、利用促進を促す取り組みの一つではあるが、イベントを開催することではないので、「事業⑮乗り方教室・出前講座実施」「事業⑯施設やイベントとの連携」とは少し性質が違うのではないかと考える。

「事業⑬転入者に向けた公共交通の情報提供」だが、転入者の方に配布するだけでなく、地元住民の方にも認知をしていただくような取組が必要ではないか。実際にバスを利用しているか否かという所はきちんと問いかけた方が良いと思う。

割引制度等についても個人的に考えていきたいと思う。

- ・事務局：指摘事項は修正し、各委員には次回の時に提示できるようにしたい。
- ・アドバイザー：資料2の180ページ「事業⑮香美市域公共交通活性化協議会の開催」で、毎年1回以上とあるが、これは公共交通計画できたら年に2～3回ぐらいは行うのか。また香美市の場合、地域公共交通リーダー系統補助を受けているのか。
- ・事務局：受けていない。
- ・アドバイザー：活性化協議会はそれを決定する場なので、年に1回の開催で、意見交換や議論を通じて公共交通の運行内容への反映や利用者促進策を検討していくというのは難しいと思う。「事業名⑳地域公共交通の見直しに向けた地域座談会」とあるが、協議会に提案するために下部組織を立ち上げ、そこで得た意見を協議会に提案するといった流れを作ったほうがよいのではないか。
- ・西内会長：事業⑮を行うときには事業⑯も踏まえて討論し、計画書にある事業を進めていくが、それ以外にも必要となれば柔軟に対応していく体制を作ってはどうか。
- ・土居アドバイザー：柔軟にいろいろと考えられる素案を作れる場があったほうが良いと思う。
- ・会長：事業⑮と⑯は独立して考えるのではなく、関係性を持って動かすということで検討したい。
- ・委員：ローカルの利用促進ということで、ジェイアール四国バスではバス停近くにある全飲食店をバス停ごとに紹介する取組を考え実施していたが、トラブルがあり今は広告宣伝が止まっている。落ち着いたらバス停近くの施設と連携し、インスタグラムなどで紹介していきたい。
- ・会長：香美市だと何施設ぐらい回ったか。
- ・委員：全バス停ごとの飲食店はほとんど回った。
- ・会長：これは「事業名㉑広報誌による情報提供」「事業名㉒ホームページによる情報提供」にあたるが、施設の方の理解をいただき一緒に進めていけるような書きぶりになればいいかと考えている。
- ・委員：169ページに「事業⑥土佐山田駅からのいち駅を結ぶ交通モードの検討」とあるが、以前から香南市からもこの協議は課題とされていた。運行事業者がいるか否かの課題、香南市の負担、バスの購入や調整等いろいろな事があると思うが重要な課題ということで検討をお願いしたい。

「カミカ」同様に「ですか」（177 ページ）の利用も推進していただきたい。

- ・ 会 長： 香南市の件は、討論を進め課題をクリアしていかなければと思っている。  
ICカード「ですか」の利用推進については、バス利用者の利便性が上がるような意識向けができればと考えている。このあたりの書き方をどうするかは考えておきたい。
- ・ 委 員： 資料1の153ページ「介護タクシー」の表記を「福祉タクシー」に変えてほしい。  
資料2で、今後の事業を進めていく中でルールとか目的とか施策を挙げているが検討する事項が多い。もう少し具体的に目標を達成できるようなものを設定していただきたい。検討から実施・実現をどのように考えているのか明確にしたい。  
あと、具体的に目標達成ができるかどうかの設定をしていただきたい。  
全体的に今回の資料で感じたのが、資料1の中で観光の話をしているが、全体的にみると補足的に観光が入っているだけで具体的にどういう部分を作っているかというのが全く見えない。香美市住民のことだけを考え、外部からの観光客を受け入れてというものが全くないように思う。「あんぱん」の話もそうだが、せっかく観光地がいっぱいあるのでもう少し観光部分についても深掘りをしていく必要があると思う。むしろそういう話題を組み込んだ方が良いと思う。
- ・ 会 長： 各施策に関して、定量的に目標立てられるものは立て、そうではないものでも何を達成できたかがわかるような書き方に修正していく。  
観光に関しても、佐川町の事例を見て勉強し、できることできないことを考え記載していく。  
観光のところの文脈も課題整備等を見直し、きちんと文脈ができるよう繋がりを持って修正していく。
- ・ 事 務 局： 検討が一つで具体的なところがあまりないと山本委員から指摘があったが、今時点では実施時期が空白で検討中だが、具体的に予定を入れられる部分については、何年度までにと入れていきたいと思う。  
書きぶりも変えていく。
- ・ 委 員： 実施主体が、ほぼ香美市、交通事業者になっているが、運賃割引とかいろいろなものが入っているが、実際に実施した交通事業で書かれているが、これは交通事業者の承諾されているのか。
- ・ 事 務 局： 交通事業者の承諾の確定は、まだできていない。
- ・ 委 員： 運賃割引をうたっているが、運賃割引は事業者負担になると思う。香美市がこれを補填してという考えで運賃割引を示されているのかが心配するところではある。運賃割引分を事業者が負担するのであれば、公の場で容易に「運賃割引をします」というのは危険だと思う。これについて事業者が事前に承諾し、計画中と語っているのであれば問題ないが、そうでなければ削除していただき

たい。

- ・委員： 割引するというのは正規運賃からは難しく規定ではできない。ここでいう割引は、市営路線バスのことを言っていると考え、値引きするというのは差し支えないのではと考えている。
- ・委員： 作り方目線が公共交通をうたいながらも、香美市の市営路線バスを中心に作られてるような感じがする。民間事業者である公共交通の鉄道やとさでん交通、ジェイアール四国バス、各地域のタクシー事業者がこれらの計画中に入って考えられていないのではないかと。
- ・会長： コンセンサスを取ることは非常に大事だと思うが、この文言は削除しないといけないのか。
- ・委員： 交通事業者が同意していれば削除する必要はないと思うが、市民の目に触れる内容のため、民間事業者全体が割引していると誤解される可能性がある。市営路線バスだけなら具体的に市営路線バスと書き込んだ方が良いと思った。
- ・会長： 書き方も含め、気を付けながら取り扱うという事で進めたい。
- ・アドバイザー： 資料1の157ページで、利用する方、お出かけする方が所要時間のほぼ半分は待ち時間であるという事が明らかになっているのであれば、本計画の完成を待たずに早急に対応したほうが良いのではないかと。
- ・会長： 早急に対応すべきだと思う。
- ・アドバイザー： 公共交通の接続などの協議は、別途、公共交通会議で行っているのか。それとも本協議会で合わせて行っているのか。
- ・会長： 本協議会とは別に公共交通会議があり、そこで協議をするが、それは主に新規路線の新設などである。時刻表や運行便数の増減などは、公共交通会議ではなく事務局側で交通事業者と協議し対応することは可能であるが、問題は時間調整だけでは済まず、金銭や運転手の問題も関わってくるため、直ちに解消することは難しく、少しずつの改良で進めていきたい。現実問題として、直ちに増便はできないので、今後も見直しを進めていき、できる限り待ち時間を最短のところまで持っていきたい。
- ・アドバイザー： 増便ではなくても、ダイヤ改定をして繋がないと利用しづらいと思う。利用者がある限り、こういった問題が明らかになった時点ですぐに対応すべき事ではないか。
- ・会長： 大事なことなので計画にも書きたいと思う。
- ・委員： 「あんばん」もテレビ放映が始まれば、香美市に来て大柵線を利用するお客様も増えるだろうと思う。また放映後は、アンパンマンミュージアムに行くお客様が自然と増えてくると思う。美良布駅から降りてアンパンマンミュージアムまでは100mの距離がある。短い距離と思うが、小さなお子様連れの家族のことを考えるとその移動距離は遠いように感じられる。利用するお客様の利便性を考えるのであれば、アンパンマンミュージアム前でバスを停車し、降りれるようにしたほうが良いと思うので、参考・検討していただけたらと思う。
- ・会長： 考慮しているということで進めたいと思う。

最後に、いただいた意見を踏まえて、気を付ける点は気を付けつつ書ききれ  
る箇所は記載し、メリハリの利いた計画書にしていきたいと考えている。

### 3. その他

・事務局： 高知県地域支援企画員（総括）の窪田興司委員が10月19日付で異動となっ  
た。

今日は欠席しているが11月1日付けで後任の高知県地域支援企画員（総  
括）の荻田英治さんに委員の交代があったことを報告する。

今回は、12月下旬頃に、第5回目の協議会を開催したいと思う。

### 4. 閉会

・事務局： 本日は以上をもちまして第4回香美市地域公共交通活性化協議会を閉会した  
と思います  
(閉会挨拶)

以上